

第2回 滋賀大学教育学部

大学・附属四校園 共同研究発表大会

大会テーマ：理論と実践の融合を図り、地域のニーズに応えられる教育研究

教員養成学部と附属校園の間では、従来、多様な共同研究・実践が行われてきましたが、現在、より一層の協同・連携が求められています。私たちが、平成18年の第1回発表大会以降、行ってきた共同研究・実践の成果を、他校の先生方や地域の皆様に見ていただくことにより、それらが教育現場で実践的な効力を持つものかどうかを試す機会としたいと考えております。

また、ご承知のとおり、平成20年3月に告示された改訂学習指導要領では、「生きる力」や「確かな学力」の育成ということがその背景となっております。これらのことを日常のご授業の中で具体化されるためのヒントとして、この発表大会での報告・協議の内容を活用していただければと願っております。

滋賀大学教育学部長 吉川 栄治

■日時 平成20年12月20日（土） 10:30～15:40

受付 : 10:00～10:30

全体会 : 10:30～10:50

分科会 : 11:00～12:30（特別支援学校分科会、幼稚園分科会、道徳分科会）

分科会 : 13:30～15:40（教科別分科会：国・社・数・理・英・音・美・技・家・体／学校保健）

■会場 国立大学法人 滋賀大学教育学部

〒520-0862 滋賀県大津市平津2丁目5-1

主催：滋賀大学教育学部

後援：滋賀県教育委員会

大会プログラム

■全体会 10:30～10:50

教育学部長あいさつ 吉川栄治

共同研究趣旨説明 東田充弘

■分科会（午前の部） 11:00～12:30

分科会	発表形式 ・ 発表時間	発表題目・内容	発表者氏名（所属）	司会進行
特別支援教育	ポスター 11:00 ～ 12:30	P-1 発達障害研究：担任・教科担当・養護教諭を支援する～特別支援教育推進のために～	○野崎典子，若林祐子，内田とし子，居川篤司，小杉雅子（附属特別支援学校）	木村政秀
		P-2 自閉性発達障害研究：自閉性発達障害児への支援のあり方を考える	○木村明子，宮嶋國彦，井岡正宣，梶谷素女，小野佐保，清谷佳代，北村美佐緒（附属特別支援学校），大嶋彰（附属特別支援学校長），黒田吉孝（教育学部）	
		P-3 情報活用能力育成研究：特別支援教育における情報活用能力育成のための技術的支援方策	○三川綱一，石部和人，西堀二郎，田中勝彦，大杉成喜，辻野賢治（附属特別支援学校），宮田仁（教育学部）	
		P-4 発達と障害児教育研究：個別の教育的課題をふまえ，集団の中で育ち合うよりよい授業づくり～思いの表出を手がかりに～	○辰己明子，稲名智恵子，西村恭子，井口貴之，久保容子，辻幸人，栗田久美子（附属特別支援学校），白石恵理子（教育学部）	
		P-5 地域支援研究：体験型ブース「子どもの困り館」過敏性に焦点を当てて～通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の「困り感」を再現～／附属学校教員による特別支援教育の推進にむけた学校指導～巡回相談の試行～	○松村齋，福田建夫（附属特別支援学校）	
幼児教育	口頭 11:00 ～ 11:45	A-1 もの・人・自分に向き合いながら自分と相手との関係性を創り出す子どもをめざして～教育的価値の高い環境を求めて～	○奥田援史，田中裕喜（教育学部），藤井美穂（附属幼稚園）	藤井美穂
道徳	口頭 11:00 ～ 12:30	A-2 子どもの心に響く授業づくり - 「人間」と「HUMAN TIME」で創る道徳の授業-	○橋本法子（附属小学校），○森山進（附属中学校），紅林伸幸，三輪貴美枝（教育学部）	紅林伸幸

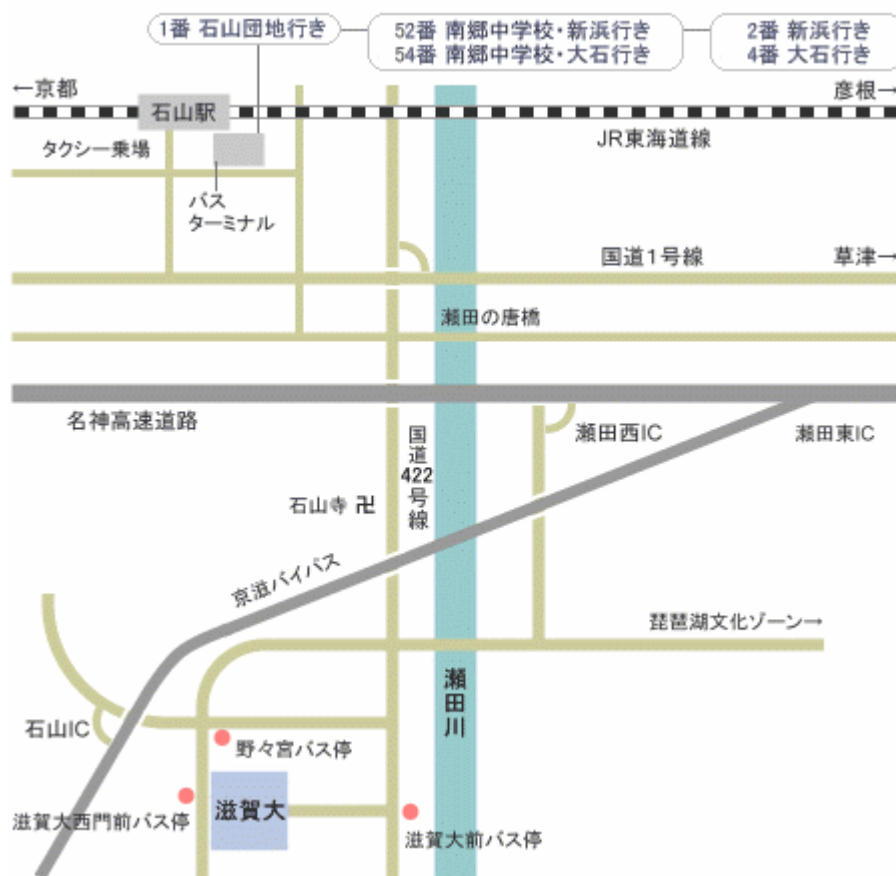
■分科会（午後の部） 13:30～15:40

国語	口頭 13:30 ～ 15:40	ことばの学びを生み出す「材」の魅力～学習者のことばを導き出すためには～		牧戸章
		B-1 絵本を使ったことばの指導～人気絵本の魅力に学ぶ授業の工夫（コミュニケーションを豊かにする指導）	○稲名智恵子，井岡正宣，清谷佳代（附属特別支援学校），大田勝司（教育学部）	
		B-2 複数教材による学習活動の開発	○岡嶋大輔，○川那部隆徳，○村河友弘（附属小学校），大田勝司，牧戸章（教育学部）	
		B-3 学び合い高め合う国語学習～明日の授業に生きる魅力ある教材づくり～	○北村拓也，舟橋秀晃（附属中学校），大田勝司（教育学部）	
		C 補足説明，協議	全員	

社会	口頭 13:30	市民性の育成を図る社会科学習		
	～ 15:40	B-1 附属教員・学部教員・学部学生の三者の共同研究の試み(1)～5年 社会科「環境を守る人とわたし」～	○西村喜雄(附属小学校), ○尾田卓也, ○岸本実, 木全清博(教育学部)	木全清博
		B-2 社会科の学習成果としての表現の指導と評価	○西田和弘(附属小学校), ○田井中皓, ○岸本実, 木全清博(教育学部)	
		C-1 公正な判断力の育成～歴史的分野のアプローチから～	○水谷哲郎, 上田真也(附属中学校), ○木全清博, 岸本実(教育学部)	岸本実
		C-2 総括討論	全員	
算数・数学	口頭 13:30	人間の活動としての算数・数学の授業づくり		
	～ 15:40	B つまづきを生かした算数指導のあり方	○伊藤真治, ○品野久治, ○森滋彦(附属小学校), 高澤茂樹(教育学部)	高澤茂樹
		C 実験や操作を基にした教材開発と授業設計	○北村俊, ○池田宏(附属中学校), 神直人(教育学部)	神直人
理科	口頭 13:30	未来を展望する理科教育を求めて		
	～ 15:40	B-1 視点の移動のある小学校理科授業	○東田充弘(教育学部), ○青谷恭浩, 岡部陽造, 永石利行(附属小学校)	東田充弘
		B-2 コンピュータを活用した花崗岩の鉱物の色の評価と授業実践	○澤田一彦(附属中学校), 増森彩香, 中野聰志, 東田充弘(教育学部)	
		B-3 学校現場における天体望遠鏡の使用法に関する動画データベースの構築	○大山真満, 立岡由紀子, 中谷敬一, 三好麻衣(教育学部), 澤田一彦, 保木康宏(附属中学校)	
		B-4 中学校における新教育分野・生命科学の設立研究プロジェクト	○糸乗前, 杉田陸海, 石上三雄(教育学部), 澤田一彦, 保木康宏(附属中学校)	
		C 私が考える新学習指導要領のポイント	○青谷恭浩, ○岡部陽造, ○永石利行(附属小学校), ○澤田一彦, ○保木康宏(附属中学校), ○東田充弘(教育学部)	
英語	口頭 13:30 ～ 14:30	B 四技能を統合的に育成し, コミュニケーション能力の基礎を育てる授業	○塩見光二, 安浪久美子(附属中学校), ○時田育子(教育学部)	時田育子
音楽	口頭 14:40 ～ 15:40	C 「こんな音楽にしたい」と思いをもって仲間と音楽をつくる授業	○石田智香子, ○楠見丹生子, ○古谷知子(附属小学校), 松井弥寿雄(附属中学校), ○林 睦(教育学部)	林 睦
図工・美術	口頭 13:30	B-1 協同的思考による問題解決型デザイン学習	○馬淵哲(附属中学校), 新関伸也(教育学部)	新関伸也
	～ 14:30	B-2 粘土による「造形遊び」と子どもの相互行為	○松山辰也, 谷村昌則, 山田和美(附属小学校), 新関伸也(教育学部)	
技術	口頭 13:30 ～ 14:30	B 科学指向の技術教育カリキュラムの開発～思考し創造する情報教育とエネルギーと社会の関わりを考える科学技術教育～	○河野卓也(附属中学校), 松原伸一(教育学部)	千葉訓司
家庭	口頭 14:40	C-1 五感を通して学んだことを生活に生かす家庭科学習	○法山由紀子(附属小学校), 矢野由起(教育学部)	矢野由起
	～ 15:40	C-2 人とかわりながら学ぶ家庭科学習	○菊谷愛(附属中学校), 矢野由起(教育学部)	
体育・学校保健	口頭 14:40	C-1 小学校中学年における睡眠学習教材の開発と実践化	○山田淳子, 青木作衛, 中川大介(附属小学校), 高田和子, 森山進(附属中学校), 辻延浩, 佐藤尚武(教育学部)	石樽清司
	～ 15:40	C-2 実感から意欲へつなぐ保健学習～心の健康の単元を例にして～	○牛窪淳江(附属小学校), 増倉さおり(附属中学校), 石樽清司(教育学部)	

■大学案内図

JR石山駅からバス（石山団地行き，南郷中学校・新浜行き，南郷中学校・大石行き，新浜行き，大石行き）で約15分，京阪電車石山寺駅からバス（同系統）で約10分です。



■参加費

一般参加費は500円（「大会発表要旨集」代を含む）です。ただし，学生・院生は200円です。発表大会当日，受付にてお支払いください。

■参加申込み

「共同研究発表大会」参加申込みとご記入の上，①ご氏名，②ご住所，③連絡先（電話番号，メールアドレスなど），④所属 について，12月10日までに，Eメール，FAXまたは郵便で，お知らせください。

■申込み先・問合せ先

共同研究発表大会事務局

Eメール： higashid@edu.shiga-u.ac.jp

FAX： 077-537-7840（総務係）

郵便： 〒520-0862 大津市平津2丁目5-1 滋賀大学教育学部